

【1月の休館日】  
 1日(金)～4日(月) 5日(火)  
 12日(火) 19日(火) 26日(火)  
 ★1/6(水)は10:30～17:00まで開館  
 ※感染症の拡大状況により、掲載内容を変更する場合があります。

# 福智町図書館・歴史資料館 ふくちのち ふくちのち便り

開館時間 10:00-17:30 / 福智町赤池 970-2 / ☎ 28-2855



## ふくちのちイベント

### ◆上映会 大人向け

「永遠のニシバ」  
 1/9(土) 14:30-16:05

幕末から明治初期にかけ蝦夷地を探査・記録し、「北海道」のもととなる「北加伊道」を提案した探検家・松浦武四郎と先住民アイヌとの交流を描いた名作「永遠のニシバ」。主人公は嵐松本潤が好演。

### ◆スタッフのおはなし会①

1/10(日) 11:00-11:30

### ◆上映会 子ども向け

「うっかりベネロペ みんなともだち編」  
 1/16(土) 14:30-15:05

キュートなベネロペが友達や家族たちに囲まれて過ごす好奇心一杯の毎日の物語。原作の絵本の世界観を大切に再現したベネロペの愉快な日常を5分のショートアニメで存分にお楽しみください。

### ◆スタッフのおはなし会②

1/17(日) 11:00-11:30

### ◆スタッフのおはなし会③

1/24(日) 11:00-11:30

### ◆子どもの折り紙教室

1/31(日) 11:00-11:30  
 定員▶先着6組

## 刺しゅうミシンを体験してみよう! オリジナルブローチづくり

恐竜やハシビロコウ、うさぎやねこなどのイラストにぬり絵をした後、その絵を元にミシンが自動で刺しゅうを行います。この機会に、世界にたった1つだけの特製ブローチ作りに挑戦してみませんか。

日にち▶1月10日(日)  
 1月17日(日)  
 1月24日(日)  
 1月31日(日)

時間▶①14時00分～  
 ②15時00分～  
 ③16時00分～

※各回1家族に限定します。  
 ※事前申込が必要です。  
 ※小学2年生以下は、保護者同伴。

場所▶1階 ものづくりラボ  
 参加費▶200円(1個作成分)  
 1家族2個まで

PICK UP



MONTHLY NEWS

## 今年の干支・牛がモチーフ! 「ハンコ作り」でお正月準備

ふくちのち内にある「ものづくりラボ」で、年賀状作成などに便利な「正月ハンコ」作りのワークショップが、12月6日・13日・20日の3回開催されました。参加者51人は、それぞれの絵心を生かし、今年の干支である牛のイラストを描写。オリジナルの絵がスタンプになっていく過程を通し、ものづくりの楽しさを実感していました。



「年賀状に使いたい」と全集中で作業に取り組んだ参加者

## 特別整理期間のお知らせ! 来月のふくちのちは…!?

●年に一度の蔵書点検に伴い、2/8(月)～2/19(金)は休館します。  
 ※詳細については、来月号のふくちのち便りをご確認ください。

NEXT MONTH INFORMATION

## 新着本

感謝離  
 河崎啓一/著(双葉社)

リノベ暮らしはじめました  
 たかはしみき/著(新潮社)

ハーバードで学んだ  
 最高の読み聞かせ  
 加藤映子/著(かんき出版)

自分らしく、  
 ひとりで暮らすということ  
 主婦の友社/編(主婦の友社)

児童書

ぼくたち、わるもの?  
 ソフィー・コリガン/著(サンマーク出版)

へんくつさんのお茶会  
 楠草子/作(学研プラス)

ドラねこまじんのボタン  
 如月かずさ/作(偕成社)

ゲナポッポ  
 クリハラタカシ/著(白泉社)

## 福智の風

▶皆さん!明けましておめでとうございます。新年一発目の特集は、令和3年に希望を灯すため夢追う3人の「ミライ☆チャンピオン」を紹介。今回担当した森田梨湖選手と田吹光翼選手の取材から私が感銘を受けた「その気持ち」を含めて紙面でリアルに伝えることに挑戦した(自称)超力作です。ぜひご覧あれ。(藤本)

▶今回は、福智町から輩出した3人のスポーツ選手を紹介。私は、プロボクサーの夢を叶えた寺田さんを取材しました。「父はとても厳しい人でしたが、今では感謝でしかない。ボクシングで、父よりこわい相手なんていないと思う」と寺田龍覇さんが言った言葉にジーンとくるものがありました。今後の活躍に注目です。(世良)



DATE: Jan.2021  
 NO: 029

●最古の木工技法で作られる

## 木製の手彫り白



日本古来の伝統技法で作られる「木白」木白は、窪みを掘り器などを作る「削り物」と呼ばれる日本最古の木工技法で作られています。現在では、昔ながらの木白はほとんど生産されていませんが、使い勝手が良いとされる石臼は、年末年始の餅つきイベントなどで今でも活躍しています。

落の臺句会

山茶花のこぼるるままに百度石  
 生ききつて生の苦しき実南天  
 紅葉におりふし光る山の道  
 独居の暖炉の煙狼煙めく  
 手の胼胝が翁の自慢注連作り  
 ボタ山の名残りはいずこ照紅葉  
 木の実降る園児の弾む声のして

落合 東太  
 藤井耿之介  
 白石 傾和  
 大井 良治  
 山本ひろし  
 宮崎富美子  
 高津 澄子

互選

はな俳句会

老の身にさらに厳しき冬に入る  
 デイケアを戻りてよりの日の短か  
 さまざまの木の葉集めて山路かな  
 予想せぬ不幸な知せ木の葉散る  
 眠りこけ尚止められぬ夜なべかな  
 ひらひらとワルツ舞うごと散る紅葉

植木 チエ  
 馬郡 京子  
 福島ソマコ  
 日高八重子  
 藤本 鈴子  
 山田 花子

岩井竜童選

# 四季の歌

心映の投句  
 俳句・短歌教室の詠歌紹介

鬼杉赤池俳句教室

建部三由紀選

鯨を捌く主の布袋腹  
 負けん気の尖ってゐるよ冬木の芽  
 ままごとの碗に無垢なる雪積もる  
 いざ山へコート携へ出陣す  
 古寺や地蔵に赤き冬帽子  
 太陽の匂ひなつかし千蒲団  
 ちははの長き戒名敬老日  
 秋刀魚焼く真一文字に一尾かな  
 団樂を求めて炊きし十夜粥  
 冬ぬくし猫のあくびに眠くなる  
 神代より女はおしゃれ返り花

岩井 童子  
 松岡 萬枝  
 西田 真美  
 二宮 正人  
 清原サヨ子  
 桑野 京子  
 加藤さみ子  
 小野 美幸  
 倉石嘉代子  
 西田 芽生  
 選者 吟

方城句会  
 額づきし巫女の祈りや庭の雪  
 絶え絶えに知らせは何ぞ冬の虫  
 興国寺銀杏流るゝ石畳  
 好き嫌い最後のひとひら好きになれ  
 宮若の黒丸を降る雲の幽

藤井耿之介  
 婆ニヤン  
 想 史  
 春 香  
 檜 幽可